

ウィークリーニュースレター34号 2021

<環境問題にどこまで取り組む？コストとのせめぎ合い>

先日仕入先の包材商社さんからこんな提案を受けました。下の写真です。



<ウッドカトラリーシリーズ>左から 価格は全て税別
未晒紙完封ウッドフォーク 155mm→@6円
未晒紙完封ウッドスプーン 155mm→@6.5円
ポリ完封ウッドスプーン 155mm→@5.5円
ポリ完封ウッドフォーク 155mm→@5.2円
ポリ完封ウッドスプーン 85mm→@4.1円
ポリ完封ウッドフォーク 85mm→@4.3円

価格がめちゃくちゃ高いです！でも大手チェーン店では使用しているお店も出てきていると話していました。

今食品業界では「脱プラスチック」に向けた動きが活発になっています。代表的な包材がレジ袋です。バイオマスの含有量によって無料で使用して良い袋と有料でない袋と使えない袋が今は存在しています。スーパーやコンビニの袋はバイオマスの含有量30%です。本来であれば無料で使用できますが使用する枚数を減らしたいため有料化となっています。

また大手カフェチェーン店ではプラスチックのストローを紙製に変えて対応しています。またコンビニのコーヒーもストローを使用しない仕様に変更されています。やはり大手は環境問題に配慮した動きでブランドイメージを保持していくと思われれます。

弊社でもレジ袋、フードパックを扱っています。主に焼きそば、お好み焼き、たこ焼きに使用している人が多くいらっしゃいます。まだフードパックにメスが入っていませんがいずれ禁止されるようなルールがスタートするかもしれません。そこで今更ですが箱のご紹介！実は昔から紙製の箱の提供をしています。

左はクラフト紙に焼きそばを入れてみました。油を弾くので唐揚げや米飯も対応している箱です。

右はたこ焼きの箱。昔からある箱のためデザインは少し古臭い??デザインが気になる人は白無地もあります。



このメーカーさんは弊社と一緒に箱の企画や開発をしています。写真ではわからない紙へのこだわりがあります。例えば焼きたての商品を入れても水蒸気を紙から逃がす製法の箱があります。また保温効果を高めることでたい焼きを固くなりやすくする仕様にもなっています。プラスチック製品よりも圧倒的にコストが高い。しかし使用すると納得できる箱が実は昔からあるのです。白無地であればステッカーや熨斗でおしゃれに仕上げることもできます。サンプルも出せますので一度お問い合わせください。



三ツ星キッチンカー養成所
セミナー

キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ